

科目名	アジア政治論	科目分類	■ 専門科目群 □ 総合科目群	
			法律学科	□ 必修 ■ 選択
英文表記	Political Process in Asia	開講年次	□ 1年 ■ 2年 □ 3年 □ 4年	
		開講期間	■ 前期 □ 後期 □ 通年 □ 集中	
ふりがな	まるや あきひこ	実務家教員担当科目	○	修得単位
担当者名	丸谷 明彦	実施方法	■ 対面のみ □ 遠隔のみ □ 対面・遠隔併用	
授業のテーマ	アジア地域の政治の現状を多面的に学ぶ。			
到達目標	この授業の単位を修得した場合、次のような知識・能力を習得できます。 1 日本を含むアジアの情勢の理解に役立つ 2 内外情勢に影響を及ぼす要因についても理解を深めることができる 3 就職活動や公務員試験対策にも役立つ			
授業概要	最近のアジア情勢の動きは急激で大規模なものがあります。このような動きの根本にあるものについて、具体例を交えてご紹介し、日本がどのように対応していくべきか、皆さんと一緒に考える機会にできればと思います。			
授業計画				
第1回	アジア地域全般の情勢（全体のガイダンス）			
第2回	ニュースの見方・考え方			
第3回	中国情勢			
第4回	朝鮮半島情勢			
第5回	ロシアの動きとアジア			
第6回	ウクライナ問題			
第7回	アメリカの動きとアジア			
第8回	前半のまとめ・中間試験			
第9回	経済安全保障とアジア			
第10回	サイバー問題とアジア			
第11回	日本の外交政策とアジア			
第12回	日本の防衛政策とアジア			
第13回	情報が果たす役割			
第14回	今後に向けた課題			
第15回	全体のまとめ			
第16回	定期試験			
授業時間外の学習	1. 授業の前にテーマについて、ネットなどで調べ、大まかなイメージをつかんでください。その際、疑問や質問も考えておいてください。(2時間程度) 2. 毎回、前回の講義内容の確認を行いますので復習をしっかりと行ってください。(2時間程度)			
履修条件 受講のルール	適宜資料を配布しますが、事前に連絡がなく欠席した学生には原則として配布しませんので、友人同士でコピーしてください。講義の際は、前回までに配布した資料を必ず持参して下さい。			
テキスト				
参考文献・資料	谷口智彦『日本人のための現代史講義』（草思社文庫）			
成績評価の方法	【試験（中間40%、期末40%）、受講態度20%】 上記評価項目を基にして総合的に判断します。 ・出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受ける			

	<p>ことができません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席確認時に不在だった場合は原則としてその回は欠席とします。 ・授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。
オフィスアワー	月曜日 13:00～14:30・火曜日 14:40～16:10
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	私は公務員として公共の安全に関する業務に携わってきました。この授業をとおして、アジアの政治情勢と日本について、具体例を交え、皆さんと考える機会にしたいと思います。
学生へのメッセージ	日本を取り巻く情勢が大きく変化する中、アジア地域や国際政治に関心のある方々の積極的な参加を期待しています。具体例を活用しながら、皆さんとアジアの現在と今後について考える機会にできればと思います。